

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公表番号】特表2004-536128(P2004-536128A)

【公表日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2003-513583(P2003-513583)

【国際特許分類】

C 0 7 K	7/06	(2006.01)
A 6 1 K	31/138	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/06	(2006.01)
A 6 1 P	15/18	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
C 0 7 K	7/08	(2006.01)
C 0 7 K	7/64	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	51/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	7/06	Z N A
A 6 1 K	31/138	
A 6 1 K	47/26	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	15/06	
A 6 1 P	15/18	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/06	
C 0 7 K	7/08	
C 0 7 K	7/64	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	19/00	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	49/02	A

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月12日(2008.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

8～20アミノ酸長のペプチドであって、配列番号6を有する フェトプロテインの親水性アナログ：EMTPVNP<sub>n</sub>Gを含む、ペプチド。

【請求項2】

前記ペプチドが、直鎖状である、請求項1に記載のペプチド。

【請求項3】

前記ペプチド、環状である、請求項1に記載のペプチド。

【請求項4】

前記アミノ酸の1つ以上が、(D)-アミノ酸である、請求項1に記載のペプチド。

【請求項5】

以下：

配列番号2：QMTTPVNP<sub>n</sub>G

配列番号3：QMTTPVNP<sub>n</sub>GE

配列番号4：EMTOVNOG

配列番号5：EMTOVNOGQ

配列番号7：EMTPVNP<sub>n</sub>GQ

配列番号8：EMTOVNP<sub>n</sub>G

配列番号9：EMTOVNP<sub>n</sub>GQ

配列番号10：EMTPVNOG および

配列番号11：EMTPVNOGQ

からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、請求項1に記載のペプチドまたは該ペプチドのペプチド模倣体。

【請求項6】

検出可能なマーカーで標識されている、請求項1に記載のペプチド。

【請求項7】

前記検出可能なマーカーが放射標識である、請求項6に記載のペプチド。

【請求項8】

前記放射標識が、放射標識されたさらなるアミノ酸である、請求項7に記載のペプチド。

【請求項9】

請求項1に記載の2つのペプチドからなる、二量体ペプチド。

【請求項10】

前記2つのペプチドが、配列番号4および配列番号5である、請求項9に記載の二量体ペプチド。

【請求項11】

前記2つのペプチドが、配列番号3および配列番号10である、請求項9に記載の二量体ペプチド。

【請求項12】

請求項1に記載3つ以上のペプチドからなる、多量体ペプチド。

【請求項13】

請求項1に記載のペプチドおよび適切なキャリアを含む、組成物。

【請求項14】

前記適切なキャリアが、安定化賦形剤を含む、請求項13に記載の組成物。

【請求項15】

前記安定化賦形剤が、ドデシルマルトシドまたはマンニトールである、請求項14に記載の組成物。

**【請求項 1 6】**

請求項 1 に記載のペプチドに特異的に結合する抗体。

**【請求項 1 7】**

エストロゲンにより刺激される細胞増殖を低減するための組成物であって、

請求項 1 に記載のペプチド  
を含む、組成物。

**【請求項 1 8】**

前記ペプチドに対する前記細胞の曝露の前、その間、またはその後に、タモキシフェンが該細胞にさらに曝露されることを特徴とする、請求項 1 7 に記載の組成物。

**【請求項 1 9】**

被験体において癌を処置または予防するための組成物であって、

請求項 1 に記載のペプチド  
を含む、組成物。

**【請求項 2 0】**

前記癌が、エストロゲン依存性癌である、請求項 1 9 に記載の組成物。

**【請求項 2 1】**

前記エストロゲン依存性癌が、乳癌である、請求項 2 0 に記載の組成物。

**【請求項 2 2】**

前記被験体に対する前記ペプチドの投与の前、その間、またはその後に、前記被験体に適切な量のタモキシフェンがさらに投与されることを特徴とする、請求項 1 9 に記載の組成物。